

報道関係者各位

魅力的なメインストリートづくりに向けて 沿道事業者と連携した「公共空間の社会実験」

茨木市では、11月3日(祝)から11月30日(水)までの間、本市のメインストリートである中央通りと東西通りを対象に、道路上に沿道事業者によるテラス席の設置や滞在・休憩スポットの創出などを行う「公共空間の社会実験」を実施します。

本市では、市中心部をより多くの人々が訪れ、滞在し、活動したくなるような“まちなか”にするために取り組んでいるところです。この社会実験は、メインストリートを景観面からより魅力的にしていける「茨木みちクルプロジェクト」の一環として、昨年度に開催したワークショップの結果等を踏まえ、実施するものです。

期間中は、道路上を活用した沿道事業者のテラス席設置による通りの賑わいづくりの演出（8日(火)～14日(月)、夜間を中心に）や、沿道に隣接する公園の一部を活用した休憩空間の創出、将来的な歩道拡幅後をイメージした空間活用のほか、沿道事業者との連携による賑わいや落ち着きを感じる通りの演出などを企画しています。

初日となる11月3日(祝)には、社会実験の内容を実際に体験し、通りのあり方を話し合うオープニングイベントも開催するほか、市ホームページでは社会実験に対するご意見を募るアンケートも実施します。



テラス席設置のイメージ

■日 時

令和4年11月3日(祝)～11月30日(水) ※一部、期間短縮の内容あり

■場 所

中央通り、東西通り

※いずれもJR茨木駅と阪急茨木市駅をつなぐ茨木市のメインストリート

■内 容

- ・沿道事業者の滲み出しによる通りの賑わいづくりの演出
- ・歩道拡幅後をイメージした空間活用（ウッドデッキなどの設置）
- ・公園の一部を活用した休憩空間の創出
- ・沿道事業者との連携による賑わいや落ち着きを感じる通りの演出（A型看板、プランター、フラッグなどの設置） など

■福岡洋一市長コメント

沿道の事業者、学生はじめ多くの皆さまと一緒に新しいストリートの姿を作っていきます。



【本件に関する問合せ先】

都市政策課長 電話：072-620-1660